

令和3年7月13日

保護者の皆さまへ

世田谷区教育委員会
教育長 渡部 理枝

世田谷区在住の小・中学生（12歳から15歳）を対象にした
新型コロナウイルスのワクチン接種について

世田谷区在住の12歳から15歳の方を対象にした新型コロナウイルスワクチン接種について、下記ワクチン接種における留意点等をご理解のうえ、ご対応いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1 ワクチン接種について

世田谷区在住の対象者となる児童・生徒には、後日世田谷区から接種券等が送付されますので、各ご家庭にてご対応いただきます。

2 ワクチン接種券の発送について

- (1) 7月下旬に送付予定です。なお、お住まいの自治体ごとに送付時期が異なります。
- (2) ファイザー社製のワクチンは、満12歳となった日から接種ができます。このため、6月30日までに満12歳になった方には7月下旬に発送となりますが、7月以降に満12歳になる方は誕生月の翌月に発送となります（基礎疾患を有する方で申請（愛の手帳保持者含む）をいただいた方も同様の取り扱いとなります）。

3 接種場所

区内の病院・診療所および区の集団接種会場等。詳しくは区のHPをご確認ください。

4 ワクチン接種における留意点

以下のほか、別紙チラシ「新型コロナワクチンについて皆さまに知ってほしいこと」をお読みください。

- (1) 費用は無料です。
- (2) 同じ種類のワクチンを2回接種する必要があります。
- (3) 接種できるワクチンはファイザー社製のみです。国や都の大規模接種センター等で使用されるモデルナ社製は18歳以上の方が対象のため接種できません。
- (4) 接種は原則として保護者同伴です（保護者の同意が必要です）。
- (5) ワクチン接種は強制ではありません。接種による効果や副反応等について、別紙チラシや区から送付される通知などをよくお読みください。必要に応じて、かかりつけの医師等とご相談ください。

- (6) ワクチン接種が登校日の場合、接種後登校することも可能ですが当日の激しい運動（体育、プール、部活等）は控えてください。
- (7) ワクチンを受けた後も、手洗いやマスクの着用、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保などの感染予防対策の継続については引き続きご協力をお願いいたします。

5 ワクチン接種及び接種後の副反応による学校での出欠の取り扱いについて

欠席としない取り扱いも可能です。いずれも事前に学校にお問い合わせください。

6 人権に関わる配慮についてお願い

上記のとおりワクチンの接種は強制ではありません。このことにご理解をいただき、保護者の皆さまにつきましては、ご家庭においても次のことをご指導いただきますようお願いいたします。

- ・ 新型コロナワクチンの接種を「受ける」又は「受けない」ことによって、差別やいじめ、SNSでの誹謗中傷等は許されることはありません。
- ・ 周囲に新型コロナワクチンの接種を「受ける」又は「受けない」を強制してはいけません。
- ・ 身体的な理由や様々な理由によってワクチンを接種することができない人や接種を望まない人もおり、その判断は尊重されるべきです。
- ・ 不確かな情報に惑わされて人権侵害につながることをのらないよう、正確な情報に基づき冷静な行動をとってください。

7 各種相談窓口

(1) 世田谷区の新型コロナワクチン接種に関すること

世田谷区新型コロナワクチンコール

電話 0120-136-652

(平日:午前8時30分～午後8時、土日祝:午前8時30分～午後5時30分)

(2) 新型コロナワクチンに関すること

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

電話 0120-761770 (午前9時～午後9時、土日・祝日も実施)

(3) ワクチン接種後に体の異常があるときの連絡先

東京都新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター

電話 03-6258-5802 (24時間対応)

(4) 差別やいじめなどについての相談窓口

- ・ せたがやホッと子どもサポート

電話 0120-810-293

(月～金:午後1時～午後8時、土:午前10時～午後6時)

- ・世田谷区教育相談室電話相談ダイヤル
電話 03-3429-9766 (月～金：午前9時～午後7時)
- ・東京都いじめ相談ホットライン
電話 0120-53-8288 (24時間対応)

8 その他

- ・ 国の考え方において現時点で学校での集団接種は推奨しないとの方針を踏まえ、世田谷区においては区立小・中学校での集団接種を実施する予定はありません。
- ・ 本件ご案内は、現時点の知見に基づき作成したものです。

【参考】国立成育医療研究センター病院長に聞きました。

Q.12歳以上の子どもに対するワクチン接種について、どのようにお考えでしょうか？

A.基礎疾患があり普段からお薬を飲んでいるようなお子さんは、受けた方がよいと考えます。

元気なお子さんへの接種については、ワクチン接種のメリット(効果)とデメリット(副反応)を確認し、保護者の方とご本人とでよく相談されると良いと思います。

Q.副反応はどのような症状がありますか？

A.通常は接種部位の痛みや発熱などです。その他、ワクチンによる副反応ではなく、針を刺されたことや緊張など、様々な精神的ストレスから、気分が悪くなることも考えられます。

Q.子どもが新型コロナウイルスに感染して重症化することはあるのでしょうか？

A.これまでに診療にあたったお子さんは、無症状か発熱、鼻水などの症状で治まっており、毎年流行するインフルエンザと比べても軽症で済む場合が多いと思います。

Q.食物アレルギーがある子どもが、ワクチン接種によるアナフィラキシーを起こしやすいということはあるのでしょうか？

A.ワクチンに含まれる添加物などにアレルギーのある方は受けることはできませんが、原因食物がわかっている方については問題ないと思います。

Q.2回ワクチンを打ったあとも、マスク着用や手洗い、密を避けるなどの対策は必要ですか？

A.ワクチンを打っても、罹患してしまう可能性はゼロではありません。そのため引き続き、感染予防対策は継続する必要があります。

担当：学校健康推進課 学校健康推進係

5432-2693